

第14回 全国高等専門学校デザインコンペティション

# デザコン 2017 in 清流の国ぎふ

2017年12月2日[土] - 3日[日]

JR岐阜駅前 じゅうろくプラザ

入場無料

メインテーマ：

## デザインが天下を制する

美濃国は日本のほぼ中心に位置しています。古来より、四囲からの道が交わる交通の要衝として知られており、京にも近く、都との往来も盛んな地でした。加えて木曾川・長良川・揖斐川により形成される濃尾平野は肥沃な水郷地帯で、農業生産力も高いことから、「美濃を制する者は天下を制す」といわれました。織田信長は1567年に美濃を制し、岐阜城に拠点に移してから「天下布武」を掲げて、京への道が開けていくことになります。

デザコン2017が開催される年は、群雄割拠の戦国時代に、尾張から美濃を制し天下を覇した織田信長が美濃を治めるようになり丁度450年になります。全国からお越しいただく皆様を岐阜駅で黄金の信長像がお出迎えいたします。混沌とした先行きの見通し難い現代において、将来の日本・世界の社会像を創造していくデザインを競い合い、ブレイクスルーを引き起こす新たな天下＝新たな社会像を提案する機会になることを願いメインテーマにします。

### ■ 競技部門

構造デザイン部門 空間デザイン部門 創造デザイン部門 AMデザイン部門 プレデザコン部門

### ■ スケジュール

12月2日[土]	10:00～	開会式
	13:00～17:00	各部門にて競技
12月3日[日]	9:00～12:00	各部門にて競技
	13:00～	公開審査・講評
	15:00～16:00	閉会式

晩秋に岐阜で待つ



主催：一般社団法人 全国高等専門学校連合会

独立行政法人 国立高等専門学校機構

主管校：岐阜工業高等専門学校

問い合わせ先：岐阜工業高等専門学校 学生課

TEL:058-320-1254

FAX:058-320-1256



# 開催部門の紹介

## ■構造デザイン部門【そのけそのけ王者が通る】

和歌山、高知大会と同様、素材には銅を用いた橋梁の製作とします。銅の持つ光沢と繊細さ、そして一点集中荷重という載荷条件もあり、橋というよりは微妙なバランスの上に立った、デザイン性に優れた「梁」が主流となりましたが、橋の本来は、人の行く手を阻む過酷な自然を凌駕する人の英知の産物で、文化や物資の流れを円滑に進める機能を有する構造物であるという原点に立ちかえり、集中荷重のみならず移動荷重にも耐える丈夫で美しいブリッジの製作を目標とします。

## ■空間デザイン部門【物語（ナラティブ）を内在する空間】

ナラティブとは、物語を意味する言葉です。それは、あらかじめ起承転結が明確になっている物語(ストーリー)ではなく、かつておばあさんが囲炉裏を囲んで語るおとぎ話が、話に入り込んだ子供達にとってドキドキワクワクするものであったように、主体にとって体験される物語、その先が予期できない物語です。

地域にナラティブを孕んだ空間が埋め込まれることで、再び活気を取り戻し、活き活きとした地域が蘇らせることができないでしょうか。わたしたちの周りに素敵な出来事や出会いを生み出し、日々、予期しない驚きに満ちた豊かな世界を生み出すことはできないでしょうか。

かつて信長が夢見たように新しい世界を拓く君たちの提案が、全国を駆けめぐるような、のびのびとした、豊かな発想を求めます。

## ■創造デザイン部門【地産地“興”（ちさんちきょう）】

創造デザイン部門のテーマ「地産地“興”」には、「地域資源を生かして、地域振興を目指す」という意味が込められています。ここでいう地域資源とは自然、歴史文化、特産物、風土、建築物、産業、技術等、その地域の特徴（個性）に関わるあらゆる要素を含みます。さらには 空き家や耕作放棄地 未整備の森林 地域特有の廃棄物（レンガ片 家畜糞 木片 生ゴミ等）といった、一見、負の遺産（弱み）と思われる事物も正の遺産へと転換しつつ、地域再生に活かすような意欲的なアプローチも考えられます。

地域ならではの資源・財産を活かしつつ、高専が「地(知)の拠点」としての役割を果たしつつ、メインテーマにある「デザインが天下(地域)を制する」ような 地方創生を実現するための具体的なシステムの提案を行ってください。

## ■AM デザイン部門【安心・安全アイテム開発】

これからの技術者は少子高齢化、省資源化、グローバル化などさまざまな社会問題に対応しなければなりません。これら現実の問題を解決し、安心・安全な社会とするには人工知能、再生可能エネルギー、新材料などこれまでにない創造的な解決方法が求められています。3D プリンタによるものづくりもそのひとつです。

例えば、高齢者や社会的弱者へのサポート技術、防災・減災技術やシステム、自動車の自動運転システム、ものをインターネットにつなぐIoT 技術など、3D プリンタの造形技術を活用して、これらをより「安心・安全」なものにするアイテムや技術を具体的に提案してください。そして、日々の生活・学習で思い浮かぶこういうものを作りたいという独創的なアイデア・情熱を3D プリンタによって形にし、社会実装を目指した作品作りをしてください。3D プリンタだから実現できる、自由な発想に基づく独創的なアイデアを求めます。

## ■プレデザコン部門【気になる“もの”】

昨年の企画に引き続いて、高専 3 年生以下限定のデザインコンペティションです。若者らしい既成観念にとらわれない自由な発想による幅広いデザインを求めます。フィールドごとにテーマを設定しています。

- (1)構造デザインフィールド：自然や風景と調和する美しい橋や構築物の建造に関する斬新で柔軟な技術の提案
- (2)空間デザインフィールド：現存するまたは過去に実在した構造物あるいは風景の透視図作成
- (3)AM デザインフィールド：次世代的のサポート技術（環境・防災・情報・エネルギー・福祉など）の提案